

史跡等の指定等

《特別史跡の追加指定》 1件

1 齋尾麿寺跡【鳥取県東伯郡琴浦町】

山陰地方で白鳳時代の法隆寺式伽藍配置をもつ唯一の寺院跡。大山山麓の台地上に位置する。中門，金堂，塔，講堂などの基壇が残り，特に塔の基壇は高さ1.1mを誇る。南北250m，東西160mの寺院地の条件の整った部分を追加指定する。

《史跡の追加指定》 6件

1 仙台郡山官衙遺跡群【宮城県仙台市】

郡山官衙遺跡 郡山麿寺跡

律令国家が東北経営のため設けた城柵跡。7世紀中頃のⅠ期官衙と，Ⅰ期官衙を取り壊して，建物等の向きを真北方向に建て替えた7世紀末頃のⅡ期官衙（陸奥国府）及び郡山麿寺跡からなる。今回，官衙遺跡の一角を追加する。

2 金田官衙遺跡【茨城県つくば市】

筑波山の南15kmの台地縁辺部に位置する，8世紀前半から9世紀中頃の常陸国河内郡家跡。正倉院，郡庁，仏教関係施設等からなる。古代の地方行政組織や地方支配体制を考える上でも貴重な遺跡。条件の整った部分を追加指定する。

3 真福寺貝塚【埼玉県さいたま市】

北西部の低湿地に向けて開口部を有する東西160m，南北180mの馬蹄形の盛土遺構を持つ，縄文時代後晩期の集落遺跡であり，北東部には地点貝塚が分布する。今回，条件の整った部分を追加指定する。

4 下之郷遺跡【滋賀県守山市】

琵琶湖東部に位置する弥生時代中期の環濠集落。9重の環濠によって集落が囲まれ，集落の入口や中枢部と推定される方形区画が確認されている。環濠から木器や自然遺物が大量に出土しており，当時の集落構造や社会，人々の生活を考える上で重要。

5 わかやまじょう わかやまけんわかやまし 和歌山城【和歌山県和歌山市】

紀の川河口部に位置する、紀伊徳川家の居城となった平山城の近世城郭。虎伏山とらふすやまに天守を設け、その東に本丸があり、これらの廻りに二の丸、西の丸、砂の丸、南の丸を配置し、高い石垣と内堀で画する。砂の丸の南に位置する扇の芝の一角を追加指定する。

6 たしろおおたこふん さがけんとすし 田代太田古墳【佐賀県鳥栖市】

大木川と山下川が形成した高位段丘の縁辺部に、6世紀後半に造られた径42m以上の円墳。横穴式石室内には赤・黒・緑の3色の顔料と岩肌の黄色を用いて騎馬人物や船に乗った人物、様々な幾何学文様きかがくなどが描かれており、装飾をもつ首長墓として重要。